

【2018年11月24日～2018年11月30日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに上昇しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

先週は市場が週末に行われた米中首脳会談およびG20（主要20カ国・地域）サミットに注目するなか、トルコ・リラの値幅も国債金利の変動幅も限定的でした。

経済指標では10月の貿易収支や外国人観光客数の前年比は前月から改善しましたが、市場の反応は限定的でした。

【トルコ・リラ 為替推移】(2018年11月2日～2018年11月30日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

トルコ国内では、内需の鈍化や政府の価格統制によるインフレ抑制効果を確認する局面が続きそうです。今週初に発表された11月の消費者物価指数の前年比は前月から鈍化し、市場予想も下回りました。この動きが今後も続くかが注目されます。

目先のトルコ・リラ相場は、市場のリスクセンチメントに左右されるとみています。先週末の米中首脳会談で米国による対中追加関税の発動が90日猶予されたことで、いったんリスクセンチメントの改善が続くそうです。

【トルコ 金利推移】 (2018年11月2日～2018年11月30日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>